ユーザーガイド

Profoto ProPanel 3×2

他言語は以下にアクセスしてください。
Pour les autres langues, veuillez consulter :
www.profoto.com/support

Profoto

一般的な安全上の注意事項

重要な安全情報と警告

本機を操作する前に、クイックスタートおよび安全ガイド（QSSG）と本ユーザーガイドの両方を必ずお読みください。QSSGには重要な安全性および規制情報が記載されており、常に確認できる状態にしておく必要があります。

本製品はプロフェッショナルな使用を目的としています。

一般的な警告

- 湿度の高い環境での急激な温度変化は避けてください。内部結露の原因となります。
- 可燃性ガス、ほこり、または強い電磁場のある場所で機材を操作しないでください。
- 承認されたライトシェーピングツールおよびProfoto推奨電源ケーブルとのみ併用が可能です。
- 光源が熱によって損傷または変形した場合、Profotoまたは認定サービスパートナーのみ交換できます。
- 本機をコネクターやケーブルで持ち上げないでください。
- 本機を狭い密閉空間で使用しないでください。適切な換気を確保し、換気口を塞がないようにしてください。ファンの羽根が自由に動くことを確認してください。
- 本機を直射日光、熱源、火気に近づけないでください。
- Profoto製品は、画像キャプチャ（写真およびビデオ）のみを目的としており、それ以外の使用は許可されていません。
- ヨークを調整する際は、手を挟む危険性に注意してください。
- 取り付けの際は、必ず安全ストラップで機材を固定してください。

警告 – 感電 – 高電圧

- 本製品は、必ず保護接地（アース）のある主電源コンセントに接続してください。
- 絶対に製品を自分で開けたり、分解したり、修理を試みたりしないでください。電源オフの場合やプラグが抜かれた状態でも、高電圧（危険な電流）が存在する場合があります。
- 認定されたProfotoサービス担当者のみが、ユニットを修理、変更、点検することができます。
- 製品の筐体が損傷している場合は、直ちに使用を中止し、電源を切ったのち、Profotoサービスにお問い合わせください。
- 切断デバイスは主電源プラグです。主電源プラグはいつでも簡単に抜ける状態にしてください。プラグを抜くときは、ケーブルではなく、必ずプラグを持って抜いてください。

- 家庭用の延長コードは使用しないでください。
- 定格入力電圧と電流がユーザーガイドに記載されているものと一致していることを確認してください。

注意 – やけどの危険

- 光源付近の表面、金属部品、レンズ、ガラスカバーの一部は、運転中に非常に熱くなることがあります。
- 加熱した部品を素手で触らないでください。
- 光源を人や物に近づけすぎないでください。
- 最も近い表面まで最低でも0.3mの距離を保ってください。

注意 – 光放射

- この製品は強い光を放射します。
- 使用中に光源を直視しないでください。目に有害な場合があります。

NOTICE RF（無線周波数）に関する注意事項

- この機材は無線周波数（RF）エネルギーを放出し、共有スペクトルを使用します。そのため、干渉の可能性を排除することはできません。
- 現地のRF規制に従って操作してください。
- 規制は変更される可能性があります。Profotoアプリを使用してファームウェアを最新の状態に保ってください。
- RF暴露規則を遵守するため、通常操作中は、ユーザーと本機の間に少なくとも20cmの距離を保ってください。

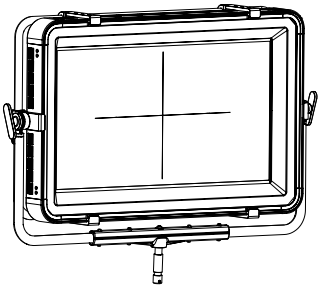
目次

付属品 **6**
製品概要 **7**
安全な取り扱いと輸送 **9**
セットアップ方法 **10**
ヨークの取り付け **10**
ジュニアレシーバー（28 mm）を使用した ProPanel の取り付け ... **11**
ヨークの傾斜角度の調整 **12**
ProPanel を天井に取り付ける **13**
電源ケーブルの接続 **14**
製品登録 **15**
操作手順 **16**
コントロールボタンとダイヤル機能 **16**
右（白）ボタン ー オン／オフ 16
センターダイヤル ー メイン調光 16
左ダイヤル 17
ライトのオン／オフの切り替え **17**
ライトの調光 **17**
ユーザーインターフェースのロック／ロック解除 **17**
ライトモードの選択と制御 **18**
CCT ライトモード 19
HSI ライトモード 20
XY ライトモード 21
RGBW ライトモード 22
GEL（カラーフィルター）ライトモード 23
SFX ライトモード 24
ユーザースナップショット **25**
スナップショットを読み込む 25
スナップショットを保存する 25
有線または無線リモートコントロールの設定 **26**
有線 DMX 26
CRMX 28
Bluetooth CRMX 30
Profoto Control アプリ 31
Profoto Air（および Air フラッシュモード） 31

設定メニューのナビゲーション 33
DMX 設定 34
ワイヤレス設定 36
Bluetooth 設定 37
ライトモード設定 37
調光カーブ設定 37
CCT 出力設定 38
RGBW カラースペース設定 38
Auto on（自動 ON）設定 38
Fan（ファン）設定 39
Input power limit（入力電力制限）設定 39
Display option（表示オプション）設定 40
General（一般情報） 41
Factory reset（出荷時の設定に戻す） 41
Automatic Temperature Protection（自動温度保護） 42
サービスおよびメンテナンス 43
セルフメンテナンス 43
修理 43
ファームウェアアップデート 44
デバイスに関する規制情報 46
デバイスのシリアル番号 46
技術仕様 47
保証 48
クレジット 48

付属品

この製品には以下のアイテムが付属しています。箱に同梱されていないものがある場合は、販売店にご連絡ください。



1

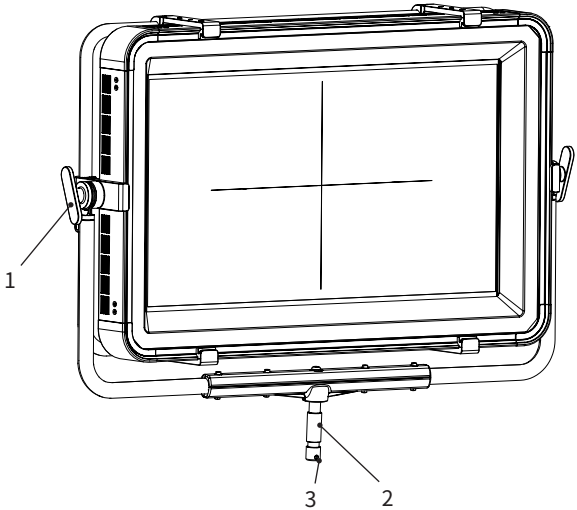
2

3

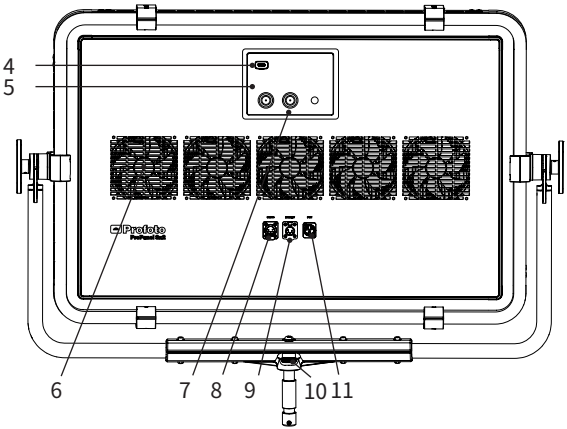
4

1. ヨーク付きProPanel 3×2
2. AC電源コード
3. 安全ストラップ
4. QSSG（クイックスタートおよび安全ガイド）

製品概要



1. ヨークロック
2. スタンドアダプター
3. 安全ピンホール



4. USB サービスポート
5. ディスプレイ
6. ファン
7. コントロールダイヤルとボタン
8. DMX 入力ポート
9. DMX 出力ポート
10. 安全ストラップ接続ポイント
11. 電源 ／ AC 差し込み口

安全な取り扱いと輸送

安全上の注意事項をお読みください。

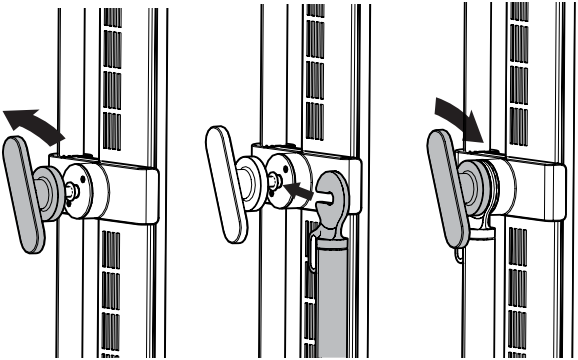
ご使用前に必ず点検を行ってください。外部に亀裂がある場合は、製品を使用しないでください。

ご使用後は必ず冷却してください。

セットアップ方法

ヨークの取り付け

1. ヨークロックを緩めます。
2. ヨークを挿入します。
3. ヨークロックを締めます。

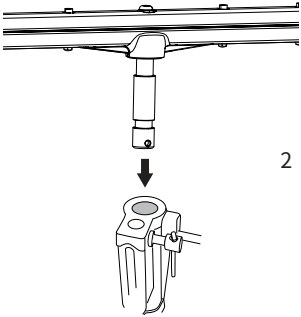


1　　2　　3

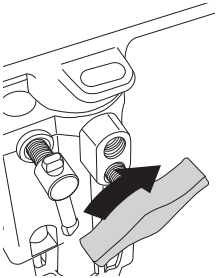
ジュニアレシーバー（28 mm）を使用したProPanelの取り付け

1. スタンドマウントをスタンドのジュニアレシーバーに差し込みます。
2. ジュニアレシーバーのネジを締めます。
3. 安全装置をヨークの安全ストラップ接続ポイントに取り付け、ライトをスタンドマウントに固定します。

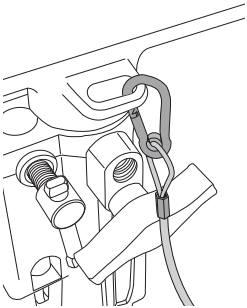
1



2

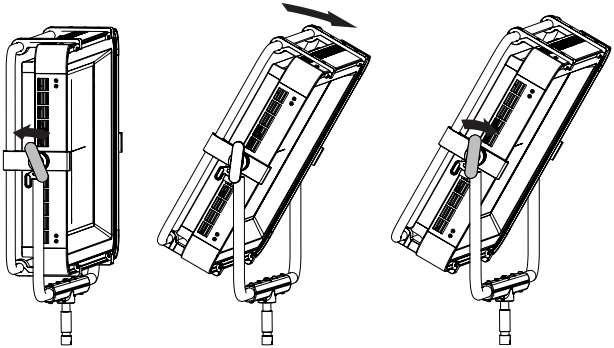


3



ヨークの傾斜角度の調整

1. ヨークロックを緩めます。
2. 希望の傾斜角度に設定します。
3. ヨークロックを締めます。

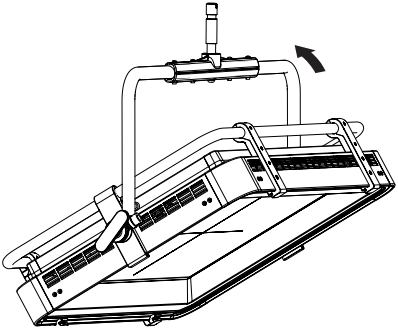


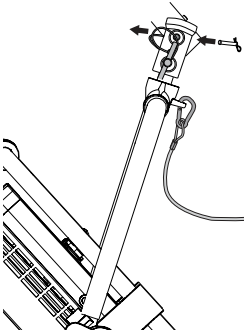
1　　2　　3

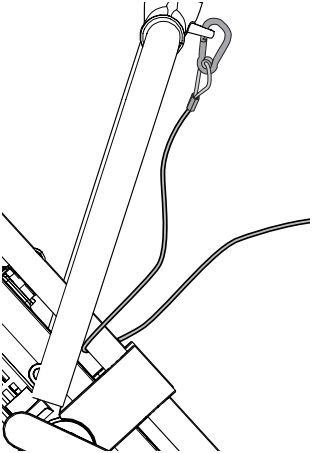
注意：
ヨークを回転させる際、指を挟む危険性があります（）。

ProPanelを天井に取り付ける

1. 安全装置をヨークの安全ストラップ接続ポイントに取り付け、ライトを天井マウントに固定します。安全ワイヤーをProPanelのチューブフレームに通します。安全ストラップに損傷がある場合は、直ちに交換してください。



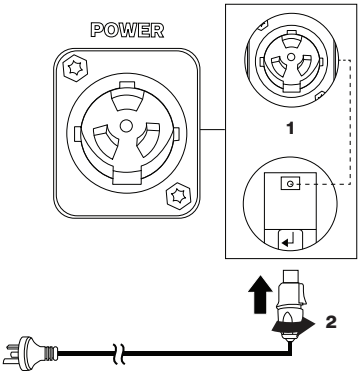




電源ケーブルの接続

接続方法

1. PowerCON プラグを AC 差し込み口の位置決めスロットに合わせます。
2. プラグを完全に差し込み、カチッと音がしてしっかりとロックされるまで時計回りに回してください。



接続切断：

1. 取り外す前にライトを消灯してください。
2. powerCON プラグのリリースラッチを引き戻します。
3. 反時計回りにひねり、プラグをまっすぐ引き抜きます。

製品登録

製品を初めてお使いになる前に、製品登録を行い、ファームウェアアップデートを確認することを強くお勧めします。ご登録いただくことで、今後のアップデートを確実にお知らせすることができます。

製品の登録と更新：

1. App Store または Google Play から Profoto Control をダウンロードしてください。
2. アプリを開き、アカウントを作成します。
3. ライトの電源を入れ、アプリで接続すると自動的に登録されます。
4. ファームウェアアップデートがあれば、アプリに表示されます。アップデートをタップして進めます。

詳細については、ファームウェアアップデートのセクションを参照してください。

操作手順

コントロールボタンとダイヤル機能

右（白）ボタン ー オン／オフ

- **短押し：**ライトのオン／オフを切り替えます。
- **長押し：**ユニットの電源を切ります。
- **設定メニュー：**短押しでメニューを終了します。

センターダイヤル ー メイン調光

- **回転：**光量を調整します（0.0～100％）。回転を速くするとスピードが増加します。
- **短押し：**設定メニューを開きます。
- **長押し：**コントロールをロックまたはアンロックします。
- **設定メニュー：**回転でナビゲートし、短押しで選択します。

左ダイヤル

ライトモード制御

- **回転：**選択したライトモードのパラメーターを調整します。
- **短押し：**パラメーターを切り替えます（色相／彩度、CCT／色合いなど）。
- **長押し：**ライトモード選択メニューを開きます。
- **ライトモード選択メニュー：**回転でナビゲートし、短押しで選択します。
- **設定メニュー：**短押しで１段階戻ります。

ライトのオン／オフの切り替え

右の白いボタンを短押しすると、ライトのオン／オフができます。

ライトの調光

センターボタンを回して、明るさの比率を0～100％の間で調整します。

- ダイヤルをゆっくり回すと、1ステップにつき0.1％刻みで光量が変化します。
- ダイヤルをすばやく回すと調整速度が速くなります。

ユーザーインターフェースのロック／ロック解除

使用中の偶発的な変更を防ぐために、インターフェイスのコントロールをロックすることができます。

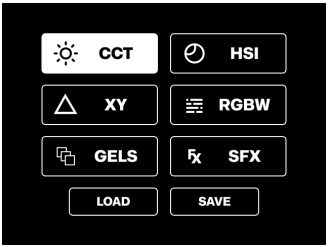
- センターダイヤルを長押ししてユーザーインターフェースをロックします。
- ロックされると、メイン画面の上部にロック状態を示すロックアイコン🔒が表示されます。
- この間、アンロック機能以外のすべてのコントロールが無効になります。
- センターダイヤルを長押しでロック解除されます。

ライトモードの選択と制御

ProPanel 3×2 には、6つの選択可能なライトモードがあり、それぞれ異なる方法で光の色特性を調整できます：

- **CCT** ー 色温度と色合いを調整できる白色光モード。
- **HSI** ー 色相と彩度を調整できるカラーモード。
- **XY** ー X ／ Y 座標コントロールを使用して正確なカラー定義を行うカラーモード。
- **RGBW** ー 赤、緑、青、白の各チャンネルを個別にコントロールできるカラーモード。
- **GELS** ー LEE と Rosco カラーフィルターをベースにしたプリセットを選択できるシミュレートカラーフィルターモード。
- **SFX** ー 特殊効果モードの選択

ライトモードを変更するには、左ダイヤルを長押ししてライトモード選択メニューを開きます。

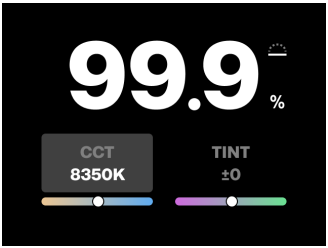


または、「**設定**」>「**ライトモード**」からライトモードのオプションにアクセスすることもできます。

各モードの詳細については、以下のセクションを参照してください。

CCT ライトモード

CCT はCCT（相関色温度）と色合い（緑／マゼンタシフト）を調整できる初期設定の白色光モードです。CCT ライトモードのメイン画面と操作方法は以下のようになります。



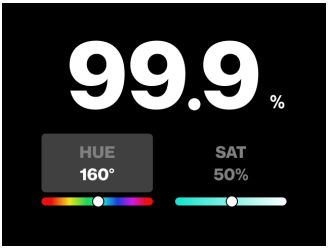
- **右ボタン** クリックするとライトのオン／オフが切り替わります。
- **センターダイヤル** 回転させて調光レベルを調整します（0.0 ～ 100 %）。
- **左ダイヤル** クリックして選択し、回転させて調整します：
  - CCT（2000 K ～ 15000 K）。
  - 色合い（-100 ～ ＋100）。

注記：
CCT ライトモードには 2 つの出力モードがあり、**「設定」＞「CCT Output（CCT 出力）」で選択できます。**

- **Max（最大）**（工場出荷時の設定）ー 選択された CCT で可能な最大光出力を使用します。
- **Constant（一定）** ー 設定された調光レベルに基づいて、CCT 範囲（～ 2600 K ～ 8000 K）で一貫した強度を維持するために最大光出力を制限します。

HSI ライトモード

HSI は、色相と彩度を調整してカスタムカラーを作成できるカラーライトモードです。HSI ライトモードのメイン画面と操作方法は以下のようになります。

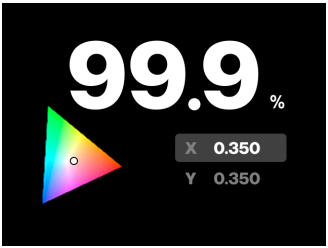


- **右ボタン** クリックするとライトのオン／オフが切り替わります。
- **センターダイヤル** 回転させて調光レベルを調整します（0.0 ～ 100 %）。
- **左ダイヤル** クリックして選択し、回転させて調整します：
  - 色相（0 ～ 360⊠）。
  - 彩度（0 ～ 100%）。

注記：
色相と彩度を調整した際、出力の強さは一定にはなりません。出力レベルはカラー設定によって異なります。

XY ライトモード

XYは、X/Y 座標値を使ってライトの色を調整できるカラーライトモードで、カラーマッチングやキャリブレーションを正確にコントロールできます。XY ライトモードのメイン画面と操作方法は以下のようになります。

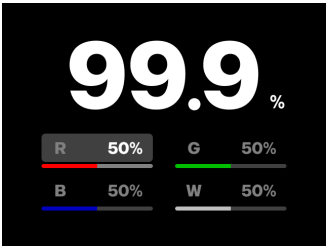


- **右ボタン** クリックするとライトのオン／オフが切り替わります。
- **センターダイヤル** 回転させて調光レベルを調整します（0.0 ～ 100 %）。
- **左ダイヤル** クリックして選択し、回転させて X 座標と Y 座標を調整します。

注記：
X と Y の値を変えた際、出力の強さは一定にはなりません。出力レベルは、選択された色座標によって異なります。

RGBW ライトモード

RGBW は、赤、緑、青、白の各チャンネルの強さを手動で調整できるカラーミックスモードです。RGBW ライトモードのメイン画面と操作方法は以下のようになります。



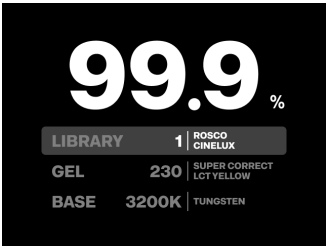
- **右ボタン** クリックするとライトのオン／オフが切り替わります。
- **センターダイヤル** 回転させて調光レベルを調整します（0.0 ～ 100 %）。
- **左ダイヤル** クリックして選択し、回転させて赤、緑、青、白を個別に調整します（0～100%）。

注記：

- 出力の強さは RGBW の組み合わせによって異なります。チャンネル間の自動正規化は行われません。
- RGBW カラースペースは、**「設定」＞「RGBW color space（RGBW カラースペース）」**で選択できます。
- 選択可能なすべての RGBW カラースペースは、6500 K のホワイトポイントに調整されます。

GEL（カラーフィルター）ライトモード

GEL モードでは、タングステン（3200 K）またはデイライト（5600 K）のベースライトに合わせて、バーチャル LEE および Rosco カラーフィルターを適用できます。



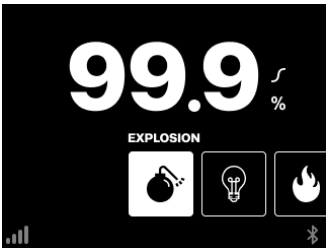
- **右ボタン** クリックするとライトのオン／オフが切り替わります。
- **センターダイヤル** 回転させて調光レベルを調整します（0.0 ～ 100 %）。
- **左ダイヤル** クリックして選択し、回転させて個別に調整します：
  - ライブラリ：9 つのカラーフィルターライブラリからお選びください。
  - カラーフィルター：アクティブライブラリからカラーフィルターを選択します。
  - ベース：ベースライトを 3200 K または 5600 K に設定します。

注記：
カラーフィルターを変えた際の光量は一定ではありません。出力レベルは、選択されたカラーフィルターとベースライトの組み合わせによって異なります。

SFX ライトモード

SFX ライトモードでは、11 種類の特殊効果モードを選択し、コントロールすることができます：

- **爆発**
- **点滅電球**
- **炎**
- **花火**
- **ライティング**
- **パパラッチ**
- **パーティーライト**
- **パトカー**
- **パルス光**
- **ストロボ**
- **TV**



- **右ボタン** クリックすると、ライトのオン／オフ、またはトリガーモードでの特殊効果のトリガーができます。
- **センターダイヤル** 回転させて調光レベルを調整します（0.0 ～ 100 %）。
- **左ダイヤル** クリックしてモード／オプションを選択し、回転させてモードとオプションをナビゲート／調整します。

各 SFX モードには固有のオプションがあります。詳細は DMX プロファイルの仕様を参照してください。

ユーザースナップショット

異なる構成を素早く入れ替えるために、8つのユーザースナップショットを保存することができます。スナップショットには、保存時点で適用されたすべてのユーザー設定が含まれます。

スナップショットのLOAD（読み込み）／SAVE（保存）オプションは、ライトモード選択メニューからもアクセスできます。

スナップショットを読み込む

- 以前保存したエントリーを選択することで、スナップショットのクイックプレビューが可能
- 以前に保存したエントリーを選択し、右ボタンを押して選択したスナップショットを読み込みます

注：
読み込みメニューの最初のオプションは、常にCURRENT CONFIG（現在の設定）です。

スナップショットを保存する

- 空のスロットを選択し、新規エントリーを保存します
- 既に保存されているスロットを選択し、エントリーを上書きします

有線または無線リモートコントロールの設定

Profoto ProPanel 3×2は、以下のリモートコントロールオプションに対応しています：

- 有線DMX
- CRMX（ワイヤレスDMX）
- Bluetooth CRMX
- Profotoコントロールアプリ（Bluetooth経由）
- Profoto Air

DMX／CRMXの優先順位に関する注記

DMXケーブルが接続され、CRMXとBluetoothの両方が有効な場合、ライトは自動的に以下の順序で受信制御信号を優先します：

- 有線DMX
- CRMX
- Bluetooth CRMX

有線DMX

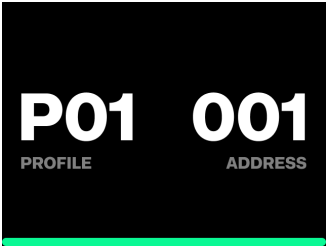
「設定」＞「DMX」でDMXアドレス、プロファイル、一般的なDMX動作を設定します。

1. DMXコントローラーをDMX INポート（5ピンXLR、電源コネクターの隣）に接続します。
2. 同じアドレスに2つ目の機材をデイジーチェーン接続するには、最初のユニットのDMX OUTポートから次のユニットのDMX INポートに接続してください。

ProPanel 3×2 が有効な DMX 信号を検出したら：

- DMX メイン画面が表示され、下部に緑色の線が表示されるとともに、選択されたプロファイルとアドレスが大きく表示されます。
- 設定メニューへのアクセスを除き、ローカルコントロールは無効となります。
- DMX プロファイル、アドレス、および関連設定は、DMX が有効な場合でも、常に設定＞ DMX で変更できます。

DMX メイン画面



CRMX

ProPanel 3×2 には、CRMX ワイヤレス DMX コントロール用の LumenRadio TimoTwo モジュールが搭載されています。

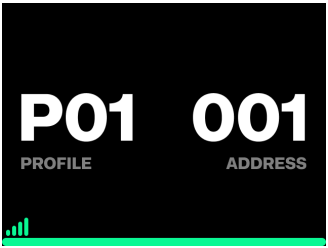
有線 DMX 接続の場合と同様、**「設定」>「DMX」**で DMX アドレス、プロファイル、一般的な DMX 動作を設定します。

CRMX 送信機とリンクする場合：

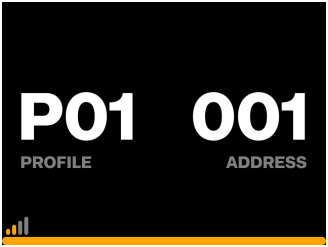
1. **設定>ワイヤレス>モード**と進み、CRMX レシーバーがオンに設定されていることを確認してください。
2. CRMX のステータスが「LINKED（接続）」の場合、「UNLINK（切断）」を押して以前の接続を消去してください。
3. CRMX トランスミッターの「LINK（接続）」ボタンを押してペアリングを開始します。

リンクされてCRMX信号が存在する状態：

- DMXメイン画面が表示され、有効なプロファイルとDMXアドレスが表示されます。
- 信号強度は左下に表示されます。
- 信号が弱い場合、画面下部の緑の線が黄色に変わります。



CRMXリンク済み、信号良好のDMXメイン画面。



CRMXリンク済み、信号不安定のDMXメイン画面。

Bluetooth CRMX

搭載のLumenRadio TimoTwoモジュールは、Blackoutアプリによる Bluetooth CRMXコントロールも対応しています。

Bluetooth CRMX接続を有効にするには、以下の両方が設定されていることを確認してください：

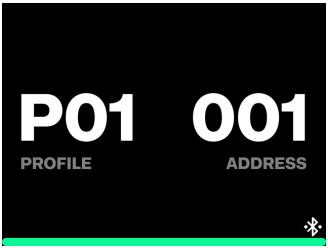
- CRMXレシーバーがオンで、かつリンクされていない(**「設定」＞ワイヤレス＞モード＞CRMXレシーバー**)。
- Bluetoothがオンになっており、切断されている(設定＞Bluetooth)。

その後、Blackoutアプリの指示に従ってライトを接続してください。

アプリ内でこの機材は利用可能なBluetoothデバイスのリストに"[モデル名] TimoTwo"として表示されます。

接続に成功したら：

- DMXメイン画面が表示され、有効なプロファイルとDMXアドレスが表示されます。
- 画面右下にBluetooth接続アイコンが表示されます。



Bluetooth DMXを接続したDMXメイン画面。

Profoto Control アプリ

内蔵の Bluetooth モジュールは、App Store および Google Play で入手可能な Profoto Control アプリによるリモートコントロールに対応しています。詳しくは profoto.com をご覧ください。

ライトを Profoto Control アプリとペアリングするには、Bluetooth がオンで、切断されている（**設定＞ Bluetooth**）ことを確認します。

その後、アプリの指示に従ってライトを接続してください。

注記：
一度 Profoto Control アプリに接続されたライトは、次にアプリを起動したときに自動的に再接続されます。次回以降、接続しない場合は、アプリから手動でライトを切断してください。

Profoto Air（および Air フラッシュモード）

Profoto Air は、すべての Profoto ライトに搭載された独自のワイヤレスシステムです。Profoto Connect Pro などの Profoto オンカメラリモコンを介したリモートコントロールとフラッシュトリガーを可能にします。Profoto Air を選択すると、Air フラッシュモードも有効になり、定常光の代わりにライトをフラッシュ光源として使用できます。

Air フラッシュを有効にした場合：

- 定常光は微量のスタンバイレベルまで調光できます
- このライトは、Profoto リモートからトリガーされると、設定された強さで 30 ミリ秒のフラッシュを点滅します。

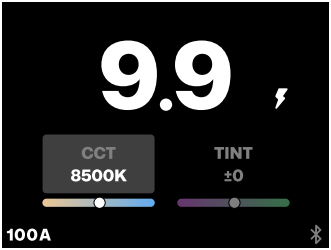
Air フラッシュモードは、完全な定常光出力をアクティブにせず、高強度のフラッシュが必要な場合に最適です。特にポートレート撮影において、消費電力を抑え、被写体の快適性を向上させます。

Profoto Air（およびAirフラッシュ）を選択するには：

1. **設定＞ワイヤレス＞モード**を選択し、Profoto Airを選択します。
2. Profoto Airメニューが開き、以下の操作が可能になります：
   - リモートで設定したものと同じAirチャンネル（1～100）を選択します。
   - ライトをAirグループ（A～F）に割り当てます。
   - ライトをフラッシュとして使用したい場合は、Airフラッシュを有効にします。

Profoto Airがアクティブになったら：

- メイン画面の調光スケールがProfotoスケール（0.1～10）に変更され、Profotoリモートのスケールと一致します。
- 選択されたチャンネルとグループは、スクリーンの左下隅に表示されます。
- Airフラッシュが有効になっている場合、メイン画面にフラッシュアイコン⚡が表示されます。

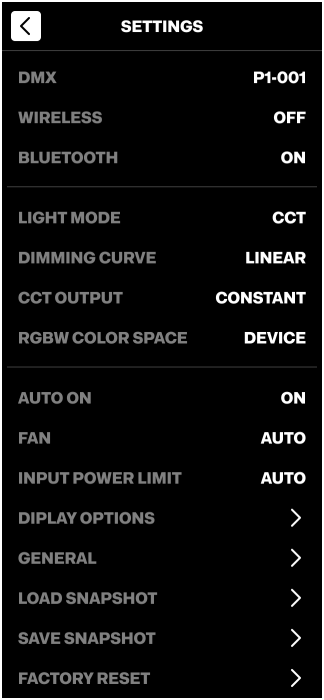


Profoto AirとAirフラッシュが有効の状態のメイン画面。

設定メニューのナビゲーション

設定メニューでは、本機のすべての設定可能なオプションにアクセスできます。

- センターダイヤルを短押しすると設定メニューが表示されます。

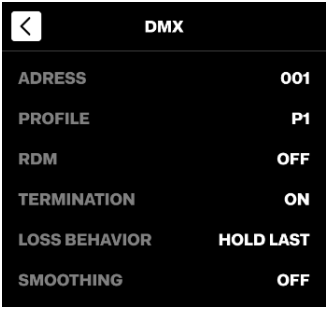


- 右ボタンを短押しするとメニューが終了します。
- 左の矢印を短押しすると１段階前の画面に戻ります。

以下のセクションで、すべてのサブ設定の概要について説明します。

DMX設定

DMXサブメニューでは、DMX関連のすべての設定を行うことができます。



アドレス

機材のDMXアドレス(001～512)を設定してください。工場出荷時のアドレスは001です。

プロファイル

お使いのコントローラーとワークフローに合ったDMXプロファイルを選択します。使用可能なプロファイルの詳細については、profoto.com/supportにてProPanel 3×2 DMXプロファイル仕様を参照してください。工場出荷時のプロファイルはP1です。

RDM

RDM(リモートデバイス管理)を有効または無効にします。

- **オフ**(工場出荷時の設定)＝RDM無効。
- **オン**＝RDM有効。

終端設定

DMX終端設定:

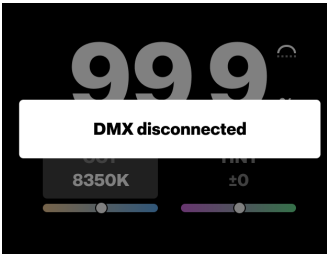
- **オフ**＝DMX信号を他のデイジーチェーン接続されたライトに転送します。
- **オン**(工場出荷時の設定)＝DMX信号を終了します。

ヒント:ひとつのDMXチェーンで複数の機材を使用する場合、チェーンの最後のライトを終端とすることが推奨されます。

損失時の動作
DMX信号が失われた場合の動作を選択します：

- **Hold Last（保持）**（工場出荷時の設定）ー直近に設定された値を保持します。
- **Black Out（ブラックアウト）**ー照明が消えます。
- **Hold 2 min, Fade out（2分間ホールド後にフェードアウト）**ー2分間直前の設定を維持し、その後ゆっくりと消灯します。

DMX信号が失われた際（原因の例：ケーブルが抜かれたなど）、DMX喪失時の動作が「Hold Last（保持）」に設定されている場合、ユーザーがボタンを押すか、DMXが再接続されるまで、「DMX disconnected（DMX切断）」のポップアップがスクリーンに残ります。



Smoothing（スムージング）
DMXトランジションがどの程度スムーズに処理されるかを調整します：

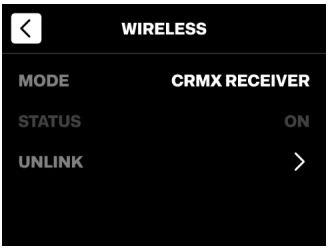
- **オフ**（工場出荷時の設定）ー最大応答速度（スムージングなし）。
- **Smooth（スムーズ）**ートランジションが2つのDMXフレームでスムージングされます。
- **Super Smooth（スーパースムーズ）**ートランジションが4つのDMXフレームでスムージングされるため、8ビットモードでも非常にスムースな調光が可能です。

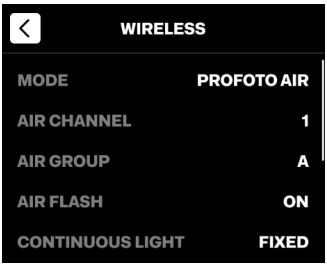
ワイヤレス設定

ワイヤレスメニューでは、ワイヤレスコントロールモードを選択できます：

- **オフ**（工場出荷時の設定）ー Bluetooth 以外のすべてのワイヤレス通信を無効にします。
- **CRMX レシーバー**ー LumenRadio 経由のワイヤレス DMX を有効にします。
- **Profoto Air**ー Profoto 独自のリモートコントロールおよびフラッシュシンクロシステムを使用可能にします。

CRMX レシーバーまたは Profoto Air を選択すると、詳細設定のためのサブメニューが開きます。





各ワイヤレスモードの詳細設定については、「**有線または無線リモートコントロールの設定**」を参照してください。

Bluetooth 設定

Bluetooth はオンまたはオフに設定できます。工場出荷時の設定のオンであり、Bluetooth CRMX を有効にしてライトを Profoto Control アプリとペアリングするために必要です。

Profoto Control アプリまたは Blackout アプリに Bluetooth 経由で接続する方法については、「**有線または無線リモートコントロールの設定**」を参照してください。

ライトモード設定

ライトモード設定メニューでは、6 つのオプションライトモードを選択できます。CCT が工場出荷時のモードです。

- **CCT**（工場出荷時の設定）
- **HSI**
- **XY**
- **RGBW**
- **GELS（カラーフィルター）**
- **SFX**

各モードの詳細については、**「ライトモードの選択と制御」**のセクションを参照してください。

調光カーブ設定

4 つの**調光カーブ**から選択し、調光時の光の反応をカスタマイズできます。リニア以外のカーブを選択した場合、メイン画面の右側（パーセント記号のすぐ上）に調光カーブのアイコンが表示されます。

- **Linear（リニア）**（工場出荷時の設定）ー標準的な線形調光応答。
- **Logarithmic（対数）**ー高い明るさレベルで最もスムーズな調光。
- **Exponential（指数）**ー低い明るさレベルで最もスムーズな調光。
- **S-curve（S カーブ）**ー低い明るさレベルでも高い明るさレベルでもスムーズな調光。

注記：

- 選択した調光カーブは、Profoto Air（フォトモード）では適用されません。

CCT 出力設定

このメニューでは、2 つの CCT 出力設定を選択できます。選択された設定は、CCT モードのメイン画面右側に CCT 出力アイコンで示されます。

- **Max（最大）**（工場出荷時の設定）ー選択された CCT で可能な最大光出力を使用します。
- **Constant（一定）**ー設定された調光レベルに基づいて、CCT 範囲（～2600 K ～8000 K）で一貫した強度を維持するために最大光出力を制限します。

注記：
選択された CCT 出力設定は、CCT ライトモードにのみ適用されます。

RGBW カラースペース設定

このメニューでは、利用可能な 4 つの RGBW カラースペースから選択できます：

- **Device（デバイス）**（工場出荷時の設定）
- **Rec.709**
- **Rec.2020**
- **DCI-P3**

選択可能なすべての RGBW カラースペースは、6500 K のホワイトポイントで調整されます。

注記：
選択した RGBW カラースペースは、RGBW ライトモードにのみ適用されます。

Auto on（自動 ON）設定

自動 ON は、ライトが電源に接続されたときの動作を決定します。以下のうちから選択できます：

- **オン**（工場出荷時の設定）ー電源が接続されると、以前に選択した設定でライトが自動的に点灯します。
- **オフ**ー電源が接続されてもライトは消灯したままで、手動で点灯させる必要があります。

Fan（ファン）設定

3つのファンモードから選択します。オート以外のモードが有効な場合、メイン画面の右上にファンモードのアイコンが表示されます。

- **Auto（自動）**（工場出荷時の設定）ー安全な動作温度を維持するためにファンの速度を自動的に調整します。
- **Max（最大）**ー オートモードでの最大速度に相当するスピードを保ってファンを作動させます。
- **Silent（静音）**ー最小の一定速度でファンを作動させます。

注記：
サイレントファンモードでは、ライトの最大出力が制限されます。

Input power limit（入力電力制限）設定

ライトの入力電力を制限し、最大消費電力を抑える設定です。以下の場合に役立ちます：

- 電源が電流制限のあるヒューズ付き。
- 複数の照明が同じ回路を共有する。
- ポータブル発電機またはバッテリーパックを使用する。

利用可能な3つの入力電力制限から選択します。オート以外の制限が有効な場合、選択された電力制限がメイン画面の左上に表示されます。

- **Auto（自動）**（工場出荷時の設定）ー入力電圧に基づき、自動的に最高入力電力を許可します。
- **1600 Wー**入力電力を1600 Wに制限します。
- **1200 Wー**入力電力を1200 Wに制限します。
- **800 W**ー入力電力を800 Wに制限します。
- **400 W**ー入力電力を400 Wに制限します。

Display option（表示オプション）設定

表示オプション設定を調整することで、メイン画面に特定の情報を表示または非表示にしたり、画面の明るさを設定したりします。

利用可能なオプション：

- 入力電源
  - **Show（表示）**ーメイン画面に現在の消費電力を表示します。
  - **Hide（隠す）**（工場出荷時の設定）ーメイン画面の電力消費情報を非表示にします。
- DMX情報
  - **Show（表示）**ー選択されたDMXプロファイルとチャンネルをメイン画面に表示します。
  - **Hide（隠す）**（工場出荷時の設定）ーメイン画面のDMX情報を非表示にします。
- Display Brightness（ディスプレイの明るさ）
  - **Auto（自動）**（工場出荷時の設定）ー周囲の明るさに応じてディスプレイの明るさを自動調整します。
  - **Max（最大）**ー明るさを最大レベルでロックします。
  - **Medium（中）**ー明るさを中レベルでロックします。
  - **Low（低）**ー明るさを低レベルでロックします。

General（一般情報）

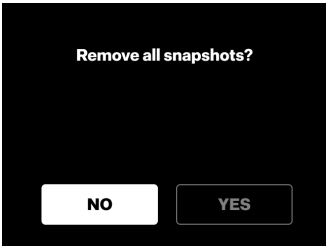
General（一般情報）のサブメニューは情報提供のみで、ここで設定を変更することはできません。ユニット固有の統計情報、ハードウェアの詳細、ファームウェアのバージョン、および規制情報へのアクセスを提供します。

サブメニューで利用可能な情報

- **Unit Stats（ユニット統計）**ー総ランタイムと電源オン回数（セッション）に関する使用情報を表示します。
- **About（概要）**ーシリアル番号、ハードウェアバージョン、ファームウェアバージョン、登録 QR コードを表示します。
- **Regulatory Info（規制情報）**ー関連する認証やコンプライアンス情報をリストアップしています。

Factory reset（出荷時の設定に戻す）

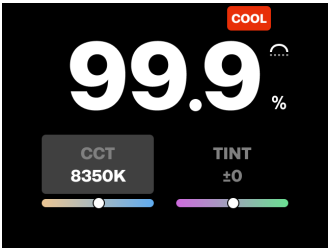
すべてのデバイス設定を工場出荷時の設定に戻す際に使用します。また、ユーザースナップショットを削除するオプションも表示されます。このアクションは、すべてのユーザー定義コンフィグレーションをリセットしますが、ファームウェアのバージョンやランタイム統計には影響しません。



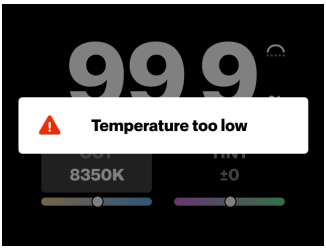
Automatic Temperature Protection（自動温度保護）

ProPanel 3×2 は、過熱や極端な低温による損傷を防ぐため、温度プロテクションを搭載しています。

- **Too hot（高温）**ー内部温度が危機的に高くなると、メイン画面に「COOL」インジケータが表示されます。
  温度が上昇し続けると、光出力は停止し、ファンは冷却のために最高速度に切り替わります。



- **Too cold（低温）**ー液冷の臨界最低温度以下（凍結時など）で電源を入れた場合、同様の警告が表示されます。



サービスおよびメンテナンス

セルフメンテナンス

ユニットを掃除するには、表面を少量の中性洗剤で湿らせた柔らかい布で優しく拭いてください。もう１枚の乾いた布で、残った水分を拭き取ります。

粉塵の蓄積を防ぐため、特に換気口**の周辺では、低圧の圧縮空気を使用して定期的なメンテナンスを行ってください。**

注意：
クリーニングやメンテナンスを行う前に、必ず主電源を抜いてください。

修理

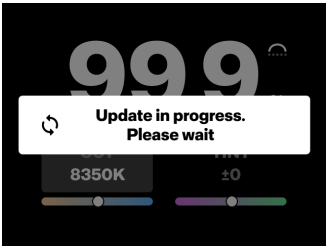
基本的なメンテナンス以上の診断や修理は、訓練を受けた Profoto 認定のサービスパートナーのみ実施できます。サポートについては、Profoto サービスまたは認定サービスセンターにお問い合わせください。

ファームウェアアップデート

製品を完全に機能させるには、常に最新のファームウェアをインストールすることが不可欠です。製品を登録すると、新しいファームウェアが利用可能になったときに通知されます。

ファームウェアのアップデートは、Profoto Control アプリ経由で行ってください。本体がアプリに接続されると、アップデートが利用可能か通知されます。その後、アプリの指示に従ってアップデートを行ってください。

ファームウェアアップデート中は、デバイスのメイン画面に「Update in Progress（アップデート進行中）」のメッセージが表示されます。アップデートの進行状況は、デバイスに接続されたアプリに表示されます。

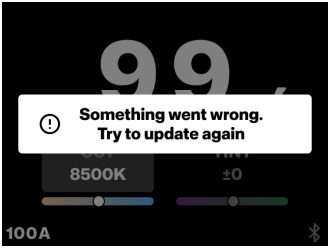


Bluetooth によるファームウェアアップデートが完了すると、デバイスが自動的に再起動します。

- 再起動後に追加の内部アップデートが必要ない場合は、「Updated Successfully（アップデートに成功しました）」のポップアップが3秒間表示されます。デバイスからもアップデートが正常に完了したことがアプリに通知されます。
- デバイスの再起動後にデバイス内部のアップデートが必要な場合、アップデートが進行中であることを知らせるプログレスバー付きの「Finalizing Update（アップデートの最終調整）」ポップアップが表示されます。

内部アップデートが完了すると、「Updated Successfully（アップデートに成功しました）」というポップアップが3秒間表示され、アップデートが正常に終了したことがデバイスからアプリに通知されます。

内部アップデート中に問題が発生した場合、「Something Went Wrong（問題が発生しました）」というポップアップが表示されます。これはユーザーがボタンを押すか、アップデートを再起動するまで表示され続けます。



デバイスに関する規制情報

「設定」>**「一般」**>**「規制情報」**で、認証やその他のコンプライアンス情報を確認できます。

デバイスのシリアル番号

シリアル番号はユニット下部に印刷されています。また、**「設定」**>**「一般」**>**「概要」**を選択することでも確認できます。

技術仕様

製品名	**ProPanel 3×2**
モデル名	P0001613
定格入力	100-240 VAC、 50/60 Hz 最大 2 200 W 最大 17.7 A
動作温度	-25°C ～ +35°C / -13°F ～ +95°F
長期保管温度	-30°C ～ +60°C / -22°F ～ +140°F

その他の技術仕様と測光情報については、profoto.com をご覧ください。

保証

本製品は、保証条件に定める例外を除き、3年間保証されます。

製品に技術的な問題がある場合は、公認Profotoサービスステーションに連絡するか、次のサイトをご確認ください：https://profoto.com/support/warranty

クレジット

App Storeは、米国および他の国、地域で登録されているApple Inc.の商標です。

Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。Profotoによる当該マークの使用はすべて、ライセンスに基づいて行われています。

USB Type-CおよびUSB-CはUSB Implementers Forumの登録商標です。その他の商標と商品名は各所有者の所有物です。

技術データと製品情報は予告なく変更される場合があります。

2026年2月 M00100053-001 Rev B. スウェーデンで印刷。

Profoto AB
Box 1264,
172 25 Sundbyberg
スウェーデン

+46 (0) 8 447 53 00
info@profoto.com
www.profoto.com

Profoto